

12 ^{けん さ}HPV検査

料
金

5,500円(税込)

ご存知ですか？

子宮頸がんのほとんどは、HPV感染が原因です。

HPV=ヒトパピローマウイルスは、おもに性交渉によって、子宮の入り口=子宮頸部や腔に感染するウイルスです。ごくありふれたウイルスなので、ほとんどの人が一生のうちに何度か感染しますが、その90%は自然に排除されます。HPVには多くの型があり、その一部=ハイリスク群は、発がん性をもっています。ハイリスク群のHPVが、排除されずに持続感染すると、子宮頸部の細胞に異常=異形成を起こします。さらにそのうちの一部が、数~十数年の期間を経て、子宮頸がんに進化するのです。

HPV検査では、ハイリスク群HPVの感染の有無を調べます。

細胞診とHPV検査の併用で、子宮頸がん検診は、より正確になります。HPV検査は、細胞診よりも偽陰性が少なく、異形成の発生を早期から検出することができます。また、細胞診とHPV検査の両方とも異常なしの場合、その後3年ほどは、子宮頸がんの危険がなく、検診を受ける必要がないといわれています。

検査方法

HPV検査は、子宮頸部細胞診と同時に行えます。子宮頸部から細胞診用に採取した細胞から、ハイリスク群HPVのDNAの検出もできるため、一度の採取で両方の検査が可能です。

※実施人数枠の制限がございます。予約のご相談はお早めをお願い致します。

※子宮頸部細胞診とのセット受診でも、HPV検査の単独受診でも検査できます。

